

## 「切れ目のない一貫した支援のあり方について」

函館市南北海道教育センター  
函館市子ども未来部母子保健課  
令和6年10月31日（木）

## 内容

- ▶ 1. 函館市の概要
- ▶ 2. 函館市の特別支援教育推進体制
- ▶ 3. 現在の取組
- ▶ 4. 今後の取組に向けて

### 1. 函館市の概要

- ▶ 人口 237,285人（令和6年9月末現在）  
うち 18歳未満人口 27,167人（函館市子ども未来部推計）
- ▶ 函館市の子育て環境
  - ・幼稚園・認可保育所・認定こども園 64か所
  - ・市立小学校 38校
  - ・市立中学校 18校
  - ・市立義務教育学校 1校
  - ・市立高等学校 1校
- ▶ 特別支援学級設置

#### 小学校（義務教育学校前期）

- ・（知的） 38校 43学級 169名
- ・（自閉・情緒） 37校 56学級 304名
- ・（肢体） 2校 2学級 3名
- ・（病弱） 1校 1学級 1名
- ・（弱視） 1校 1学級 1名

#### 中学校（義務教育学校後期）

- ・（知的） 16校 20学級 98名
- ・（自閉・情緒） 17校 24学級 116名
- ・（肢体） 1校 1学級 2名
- ・（病弱） 1校 1学級 1名

### ▶ 通級指導教室

#### 小学校（義務教育学校前期）

- ・中部小学校 23名
- ・日吉が丘小学校 40名
- ・中央小学校 42名

#### 中学校（義務教育学校後期）

- ・深堀中学校 9名

### 令和6年度版 通級指導教室を利用しませんか？

#### Q 通級指導教室とは？

A 通常の学級に在籍している子どものうち、障がいの特性に応じた支援が必要な子どもたちについて、大部分の授業を在籍している通常の学級で受けながら、一部の授業に参加する形で、障がいによる学習面や生活面の困りごとを克服するための指導を受けます。

#### Q どんな困りごとが対象ですか？

- (1) 読むときに言葉がぐもづに出てこなかつたり、特定の音を讀んで発声したりして困ること（主にことば）
- (2) 運動するときに困ることがあつたり、周囲の状況で動きが変化したりすること（主に運動）
- (3) 集団の中で交際してしちつたり、感覚と行動のコントロールが難しく不適切な行動をとつてしまつたりすること（主にことば）
- (4) 知的に困ることはなげないが、読み、聞く、読む、書く、計算する、推論するなどどれかがうまくできないこと（主にことば）
- (5) 周囲の人との関係が悪くなったり、切り替わりたり、集中力が弱くなったり、興味や興奮が持つかつたり、手順、方法に従順にならなかったりすること（主にことば）
- (6) 他人の態度の変化が見えたかったり、言語発達に困れたり、興味や興奮が持つかつたり、手順、方法に従順にならなかったりすること（主にことば）

困っていることが複数あることもあります。

#### Q どんな指導が受けられる？

- (1) 個々にした学習面や生活面における困難の改善・克服に向けた指導を行います。
- (2) 一人ひとりの状況や願いに応じた指導を行います。
- (3) 子どもの自信や意欲につながる指導を行います。

#### Q 学習面や生活面における困難の改善・克服に向けた教育相談を行います。

上のものに困るときは、相談を通して、適度な程度に支援することができます。  
函館市教育委員会では、こども、さなびに障害がある児童生徒を対象とした「函館市通級指導教室」を、市立小学校、日吉が丘小学校、中央小学校、深堀中学校の小学校3か所および中学校1か所に配置し、児童生徒が実現的に「通級」して、指導・援助を受けています。

#### Q 具体的には？

- A 在籍している学級から、道に目標地、決まった時間に「通級指導教室」へ行き、1時間程度の指導・援助を受けるものです。指導については、基本的に個別に行います。

#### Q どこに問い合わせる？

- A 函館市南北海道教育センター・保健課まで。  
<TEL> 010-6713-3889  
<E-mail> zanban@cc-city.hakodate.hokkaido.jp



保健課

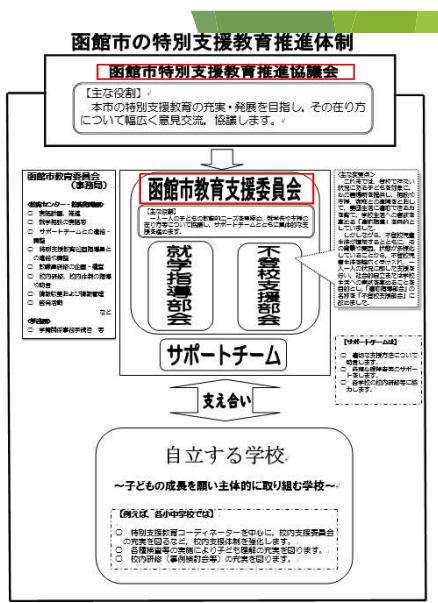
## 2. 函館市の特別支援教育推進体制

### ▶ 函館市特別支援教育推進協議会（年2回開催）

本市の特別支援教育の充実・発展を目指し、その在り方について幅広く意見交流、協議する。

### ▶ 函館市教育支援委員会

一人ひとりの子どもの教育的ニーズを見極め、就学先や支援の在り方等について協議し、サポートチームとともに具体的な支援を進める。



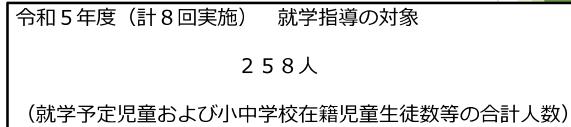
### ▶ 函館市教育支援委員会

#### 【就学指導部会】

視覚障がい、聴覚障がい、知的障がい、情緒障がい、言語障がい、肢体不自由、病弱・虚弱等の児童生徒についての適切な指導・支援のあり方について学校および保護者に、支援方法等について助言する。

#### 【組織】

・ 医師	1名
・ 学識経験者	1名
・ 教育職員	8名
・ 福祉関係職員	3名
・ 行政職員	1名
合計	14名



### ▶ 函館市特別支援教育推進協議会（年2回開催）

本市の特別支援教育の充実・発展を目指し、その在り方について幅広く意見交流、協議する。

#### 【組織】

・ 療育関係	1名
・ 学識経験者	1名
・ 教育職員	10名
・ 福祉関係職員	3名
・ 保護者（親の会等）	2名
・ 行政職員	2名
・ 就労関係	1名
合計	20名

#### 令和5年度の協議題

【第1回】  
多様な学びの場の整備について

【第2回】  
発達障がいと不登校の関連を踏まえた支援の在り方について

## 3. 現在の取組

### ▶ はこだて子どもサポートシートの活用

個別の教育支援計画や個別の指導計画の記載事項を整理した「はこだて子どもサポートシート」を作成、活用し、計画的、継続的な支援の実現を目指す。

はこだて子どもサポートシート 記入例  
(作成日：平成〇年五月一日)

【様式A】																																															
氏名	田舎 太郎	性別	男	生年月日	平成〇九年八月二十五日																																										
住所	函館市湯川町3丁目38番38号																																														
氏名	田舎 一郎	生年月日	平成〇九年八月二十五日	統病	0138-57-8251																																										
家庭構成	<table border="1"> <tr> <td>姓</td> <td>田舎</td> <td>名</td> <td>太郎</td> <td>性別</td> <td>男</td> </tr> <tr> <td>年齢</td> <td>45</td> <td>年齢</td> <td>25</td> <td>年齢</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td>職業</td> <td>会社員</td> <td>職業</td> <td>学生</td> <td>職業</td> <td>学生</td> </tr> <tr> <td>配偶者</td> <td>田舎 花子</td> <td>配偶者</td> <td>田舎 太郎</td> <td>配偶者</td> <td>田舎 太郎</td> </tr> <tr> <td>年齢</td> <td>41</td> <td>年齢</td> <td>25</td> <td>年齢</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td>職業</td> <td>主婦</td> <td>職業</td> <td>会社員</td> <td>職業</td> <td>会社員</td> </tr> <tr> <td>年齢</td> <td>30</td> <td>年齢</td> <td>45</td> <td>年齢</td> <td>45</td> </tr> </table>					姓	田舎	名	太郎	性別	男	年齢	45	年齢	25	年齢	25	職業	会社員	職業	学生	職業	学生	配偶者	田舎 花子	配偶者	田舎 太郎	配偶者	田舎 太郎	年齢	41	年齢	25	年齢	25	職業	主婦	職業	会社員	職業	会社員	年齢	30	年齢	45	年齢	45
姓	田舎	名	太郎	性別	男																																										
年齢	45	年齢	25	年齢	25																																										
職業	会社員	職業	学生	職業	学生																																										
配偶者	田舎 花子	配偶者	田舎 太郎	配偶者	田舎 太郎																																										
年齢	41	年齢	25	年齢	25																																										
職業	主婦	職業	会社員	職業	会社員																																										
年齢	30	年齢	45	年齢	45																																										
障がい名・疾患名	診断時期					診断機関(担当医師等)																																									
○○○○	H23.11.22					○○医師(○○医師)																																									
手帳等	<table border="1"> <tr> <td>身体障がい名</td> <td>有り</td> <td>無り</td> <td>有り</td> <td>無り</td> <td>有り</td> </tr> <tr> <td>健育手帳(①・②)</td> <td>□A</td> <td>□B</td> <td>□C</td> <td>□D</td> <td>□E</td> </tr> <tr> <td>口がいき児福祉手帳</td> <td colspan="5">交付: 平成24年3月2日</td> </tr> </table>					身体障がい名	有り	無り	有り	無り	有り	健育手帳(①・②)	□A	□B	□C	□D	□E	口がいき児福祉手帳	交付: 平成24年3月2日					交付: 平成24年3月2日																							
身体障がい名	有り	無り	有り	無り	有り																																										
健育手帳(①・②)	□A	□B	□C	□D	□E																																										
口がいき児福祉手帳	交付: 平成24年3月2日																																														
検査	WISC-IV(検査名: WISC-IV)(検査名: WISC-IV)					口がいき児福祉手帳																																									
保育園	平成22年4月～平成24年3月(○○○○)					口がいき児福祉手帳																																									
幼稚園	平成22年4月～平成24年3月(○○○○)					口がいき児福祉手帳																																									
学年	平成22年4月～平成25年3月(函館市立〇〇小学校)					口がいき児福祉手帳																																									
特記	平成22年4月～平成25年3月(函館市立〇〇小学校)					口がいき児福祉手帳																																									
支援内容	○○センター					支援内容																																									
支援内容等	○○センター					・視覚障がい支援が必要である。スマリューの視覚訓練による視能訓練装置の導入。 ・大きい東西回転の活動で不安感を出した場合は、回転を抑制させ、落ち着かせるなどの配慮が必要である。																																									
備考	○○センター					・平成24年度の函館市就学指導巡回において、待機支援学校(既往症、情緒障がい)の判定。																																									

様式A 1枚目

家庭での様子	学習
身の回り	
遊び	
コミュニケーション	
社会性	
その他	
【進路等を含む】	
保護者・本人の願い	

様式A 2枚目

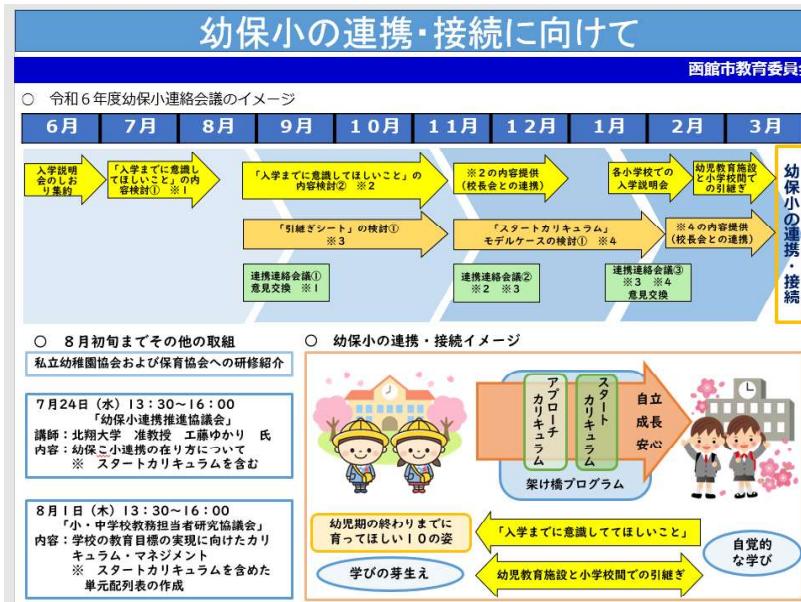
【様式B】			
第 学 年 組 氏 名 _____			
長期目標（_____まで）			
短期目標（月まで）	指導内容・場面	指導・支援方法	評価（子どもの様子）
生 活			
学 習			
交 流 及び 共 同 学 習			

様式B

### 3. 現在の取組

#### ▶ 函館市幼保小連携連絡会議

本市の幼稚園、保育所、認定こども園と小学校等との連携・接続を強化することにより、子どもの発達と学びの連続性を確保し、子どもの育ちの課題解決につなげる体制を構築するため、函館市幼保小連携連絡会議（以下「連絡会議」という。）を設置する。



### 3. 現在の取組

#### ▶ 乳幼児健康診査の実施

子どもの病気等の早期発見および成長発達の状況を踏まえた適切な助言や支援が受けられる貴重な機会であることを踏まえ実施している。

乳幼児健康診査の実施状況

	受診者数	受診率	要指導率
4か月児	972	98.8%	3.3%
10か月児	1,018	98.0%	9.7%
1歳6ヶ月児 (~2歳未満)	1,071	97.7%	14.9%
3歳児 (~4歳未満)	1,173	98.7%	22.0%

(R5年度)

## 4. 今後の取組に向けて

### ▶ 函館市特別支援教育推進協議会における支援体制のアセスメント

#### 【 第1回函館市特別支援教育推進協議会 協議の視点 】

「関係機関の連携強化による切れ目ない支援の在り方について」

- ・本市の支援体制のアセスメント（Q-SACCSシートを活用）を用いた、  
関係機関の連携強化による切れ目ない支援の充実を目指すうえでの課題の共有

アドバイザー  
北海道発達障害者支援センターあおいそら センター長 片山智博氏

Q-SACCS シート	0 ~ 3歳	臨時のインターフェース (引継ぎ)	4 ~ 6歳	臨時のインターフェース (引継ぎ)	7 ~ 16歳
	0 ~ 3歳	臨時のインターフェース (引継ぎ)	4 ~ 6歳	臨時のインターフェース (引継ぎ)	7 ~ 16歳
レベル I (毎日) 日常生活水準	<p>ア</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・認定こども園</li> <li>・保育園</li> <li>・託児所</li> <li>・保健センター</li> <li>・保育士</li> <li>・小児科医</li> <li>・こども未来部</li> <li>・こどもカントンセンター</li> <li>・子ども健やか通園制度</li> </ul>	ク	<p>・保育園</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・幼稚園</li> <li>・こども園</li> <li>・市による乳幼児健診</li> <li>・放課後等デイサービス</li> </ul>	<p>・保健師</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者</li> <li>・子育てサロン</li> </ul>	<p>ソ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援学校</li> <li>・小中学校</li> <li>・スクール・クル</li> <li>・学童保育</li> <li>・児童相談</li> <li>・児童委員</li> <li>・放課後等デイサービス</li> </ul>
共時的インターフェース (情報共有・紹介)	<p>イ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・健診</li> <li>・函館市発達支援事業所</li> <li>・保健師</li> <li>・相談支援員</li> <li>・障がい児童福祉社�</li> <li>・相談支援協議会こども部会</li> </ul>	ケ	<p>・地区担当保健師</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保健師</li> <li>・団体市障害児等発達支援事業所</li> <li>・こども発達支援センター</li> <li>・相談支援事業所</li> <li>・保健相談</li> </ul>	<p>・指導要領</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・幼保小連携連絡協議会</li> <li>・就学部施設の担任</li> </ul>	<p>ダ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スクールカウンセラー</li> <li>・スクールソーシャルワーカー</li> <li>・小中学校</li> <li>・特別支援学校</li> <li>・要対話</li> <li>・リフレッシュによる発達</li> <li>・保護者への成果の発信</li> <li>・担任・校内支援委員会</li> </ul>
レベル II (1 ~ 数回／週、月 程度) 専門医療的支援	<p>ウ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保健師</li> <li>・支援員</li> <li>・児童発達支援事業所</li> <li>・児童発達支援センター</li> <li>・保健師</li> <li>・認定こども園</li> <li>・ゆうあい吉石川診療所</li> </ul>	チ	<p>・発育カルテ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保健師</li> <li>・個別の支援計画</li> <li>・子ども発達支援センター</li> <li>・保育所等訪問支援</li> </ul>	<p>コ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童発達支援センター</li> <li>・児童発達支援事業所</li> <li>・こども発達支援センター</li> <li>・保健所</li> <li>・ゆうあい吉石川診療所</li> <li>・吉田リーナ幼児園</li> <li>・認定こども園</li> <li>・保健師による経過観察</li> </ul>	<p>セ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個別支援計画</li> <li>・発育カルテ</li> <li>・こどもサポートシート</li> <li>・吉田地区発達支援結果</li> <li>・吉田地区訪問支援</li> <li>・要対話</li> <li>・市教委による就学相談</li> </ul>
共時的インターフェース (情報共有・紹介)	<p>エ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・健診</li> <li>・主治医</li> <li>・相談支援専門員</li> <li>・保健師</li> <li>・精神科、自己支援センター</li> <li>・五種疾病院</li> <li>・中央病院</li> <li>・北病院</li> <li>・子ども見守り・相談課</li> <li>・児童相談所</li> </ul>	ガ	<p>・保健師</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主治医</li> <li>・相談支援専門員</li> <li>・児童相談所</li> <li>・子ども見守り・相談課</li> </ul>	<p>シ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・病院</li> <li>・発達が遅慢</li> <li>・精神科（内料、神経内科、精神科）</li> <li>・ゆうあい吉石川診療所</li> <li>・中央病院（こども子育て支援室、産業の教室）</li> </ul>	<p>テ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・通級指導教室</li> <li>・フリースクール</li> <li>・放課後等デイサービス</li> <li>・児童相談所</li> <li>・子ども見守り・相談課</li> </ul>
レベル III 医療的支援	<p>オ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・病院</li> <li>・ゆうあい吉石川診療所</li> <li>・中央病院セラピーセンター</li> <li>・こども子育て支援室（中央病院）</li> <li>・コドモクリニック</li> <li>・発達障がい診断</li> </ul>	... 繼続 ...	<p>... 繼続 ...</p>	<p>シ 内： / 外： &gt;</p>	<p>テ 病院 精神科クリニック 内： / 外： &gt;</p>

## 4. 今後の取組に向けて

### ▶ 第2回函館市特別支援教育推進協議会において、本市の資源や システムについて、各業種における実態把握、課題の共有を行い、 次年度の特別支援教育の推進につなげる

御清聴ありがとうございました

函館市南北海道教育センター  
函館市子ども未来部母子保健課